

第5号様式(第10条関係)

炉・厨房設備・温風暖房機 **ボイラー**  
給湯湯沸設備・乾燥設備・簡易サウナ設備  
一般サウナ設備・ヒートポンプ冷暖房機  
火花を生ずる設備・放電加工機

設置届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

長岡市消防長

様

届出者

住所 長岡市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

株式会社 〇〇〇〇〇 (電話〇〇-〇〇〇〇番)

氏名 代表取締役 〇 〇 〇 〇

防火対象物	所在地	長岡市〇〇町〇〇丁目〇〇番			電話	〇〇-〇〇〇〇番	
	名称	株式会社 〇〇〇〇〇			主要用途	事務所	
設置場所	用途	ボイラー室	床面積	〇〇. 〇〇 m <sup>2</sup>	消防用設備等又は特殊消防用設備等	第5種消火設備 (粉末ABC消火器)	
	構造	〇〇造	階層	〇〇階			
届出設備	設備の種類	小型貫流ボイラー					
	着工(予定)年月日	令和〇年〇月〇日		竣工(予定)年月日	令和〇年〇月〇日		
	設備の概要	社屋用暖房及び給湯用ボイラー 〇〇〇社製 型式〇〇〇〇番					
	使用する燃料・熱源・加工液	種類			使用量		
		灯油			100×8h×0.4(稼働率)=320/日		
安全装置	過熱防止装置、感震装置、異常燃焼防止装置						
取扱責任者の職氏名		〇〇部〇〇課〇〇係 〇 〇 〇 〇					
工事施工者	住所	長岡市〇〇町〇〇丁目〇〇番			電話	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇番	
	氏名	〇〇設備工業株式会社 代表取締役 〇 〇 〇 〇					
※ 受付 欄				※ 経過 欄			

- 備考
- 1 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
  - 2 階層欄には、屋外に設置する設備にあっては、「屋外」と記入すること。
  - 3 設備の種類欄には、鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等と記入すること。
  - 4 設備の概要欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付すること。
  - 5 ※印の欄は、記入しないこと。
  - 6 当該設備の設計図書を添付すること。

[火を使用する設備等の設置届出書記載要領]

- 1 届出しようとする該当設備を○で囲むこと。
- 2 届出日は、届出書提出日を記入すること。
- 3 「届出者」は所有者とすること。
- 4 「防火対象物」欄は、設置する建築物の所在地及び名称を記入すること。
- 5 「設置場所」欄は、設置する場所の構造等について記入すること。

注意) 機器の熱量によって内壁等の仕上げが不燃材以上でなければならない場合があるので事前に確認すること。

労働基準監督署への届出（ボイラー設置届け、小型ボイラー設置届け）に該当するものは、消防へ届出する必要はありません。  
簡易ボイラーの場合、消防への届出が必要になります。

- 6 「消防用設備等又は特殊消防用設備等の概要」欄は、火災が発生した場合に使用できる消火等のための設備を記入すること。
- 7 「届出設備」欄は、設備の概要等について記入すること。  
使用する燃料が油の場合は次のように記入すること。

(例) 灯油の場合

種類：灯油

使用量：一日に消費する数量

- 8 「取扱責任者（主任技術者）の職氏名」欄は、設置設備の責任者について記入すること。
- 9 「工事施工者」欄は、設置工事を行う者について記入すること。

注意事項

設置場所の見取図及び設備の設計図書等を添付すること。

- 案内図
- 燃料使用量計算書
- 工場配置図
- 設置室平面配置図
- 設置室配管・電気系統図
- 設置室平面配管図（油，水などの識別必要）
- 設備に関するカタログを添付する。

届出書は2部作成すること。検査後に1部お返しします。